

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■補充プリント

単元:12 世界恐慌と第二次世界大戦

【評価の観点】 ㉞：思考・判断・表現 ㉟：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>㉞ ① 世界恐慌</p> <p>㉟ ② 満州事変</p> <p>㉟ ③ 日中戦争</p> <p>㉟ ④ 国家総動員法</p> <p>㉟ ⑤ 太平洋戦争</p> <p>㉟ ⑥ ポツダム宣言</p>	<p>㉞ ① ニューヨークのウォール街は世界経済の中心であった。この証券取引所で株価が大暴落し、世界恐慌のきっかけとなった。</p> <p>㉟ ② 1931年9月18日、関東軍が行った南満州鉄道の線路破壊を、中国軍のしわざとして開戦した。</p> <p>㉟ ③ 1937年7月7日、北京郊外の盧溝橋でおこった日本軍と中国軍との衝突がきっかけとなり、宣戦布告のないまま日中戦争が始まった。</p> <p>㉟ ④ 政府はこの法を定めることにより、国民や物資すべてを戦争のために動員することができるようにした。</p> <p>㉟ ⑤ 海軍が真珠湾を奇襲攻撃するとともに、陸軍はマレー半島のイギリス軍への攻撃を開始した。</p> <p>㉟ ⑥ ポツダム宣言は、初めアメリカ・イギリス・中国の名で出され、その後ソ連がこれに加わった。</p>
<p>㉞ (1) ソ連</p> <p>㉟ (2) ナチス</p> <p>㉟ (3) ハワイ</p> <p>㉟ (4) 学徒出陣</p>	<p>㉞ (1) ソ連はスターリンの指導のもとで計画経済を実施していたため、世界恐慌の影響は受けなかった。</p> <p>㉟ (2) 1919年にミュンヘンで成立した国家社会主義ドイツ労働党の略称がナチスである。ヒトラーは1921年に党首となっている。</p> <p>㉟ (3) 真珠湾はハワイのオアフ島にあり、アメリカ海軍の軍事拠点の1つである。</p> <p>㉟ (4) 不足した将校を補うため、それまで徴兵が猶予されていた法文系の学生を戦地に送った。</p>
<p>㊦ (1) ブロック経済</p> <p>㊦ (2) ファシズム</p> <p>㊦ (3) 満州国</p> <p>㊦ (4) 大政翼賛会</p> <p>㊦ (5) 三国軍事同盟</p>	<p>㊦ (1) ブロック経済は多くの植民地を獲得していたイギリス・フランスなどがとった政策で、植民地獲得に出遅れたドイツ・イタリア・日本は海外への侵略を進めた。</p> <p>㊦ (2) ファシズムとは軍国主義的な全体主義のことをさす。</p> <p>㊦ (3) 満州国の政治・経済・軍事の実権は、日本により握られていた。</p> <p>㊦ (4) 政友会・民政党のほか、反ファシズムをかかげていた社会大衆党なども解散して大政翼賛会がつくられた。下部組織に隣組がある。</p> <p>㊦ (5) 三国軍事同盟が結ばれたことにより、日本とアメリカの対立はより深まった。</p>